

2010年6月15日  
株式会社コロナ

### 『コロナエコキュート』が2年連続受賞の快挙 ～第12回電力負荷平準化機器・システム表彰～

株式会社コロナ(本社:新潟県三条市 社長:内田 力)は、6月15日東京大手町JAビルで行われた、財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター(理事長:小宮山 宏)主催の第12回 電力負荷平準化機器・システム表彰<sup>※1</sup>において、『自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプ式給湯機 コロナエコキュート 多機能シリーズ』が『財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞』を受賞しました。

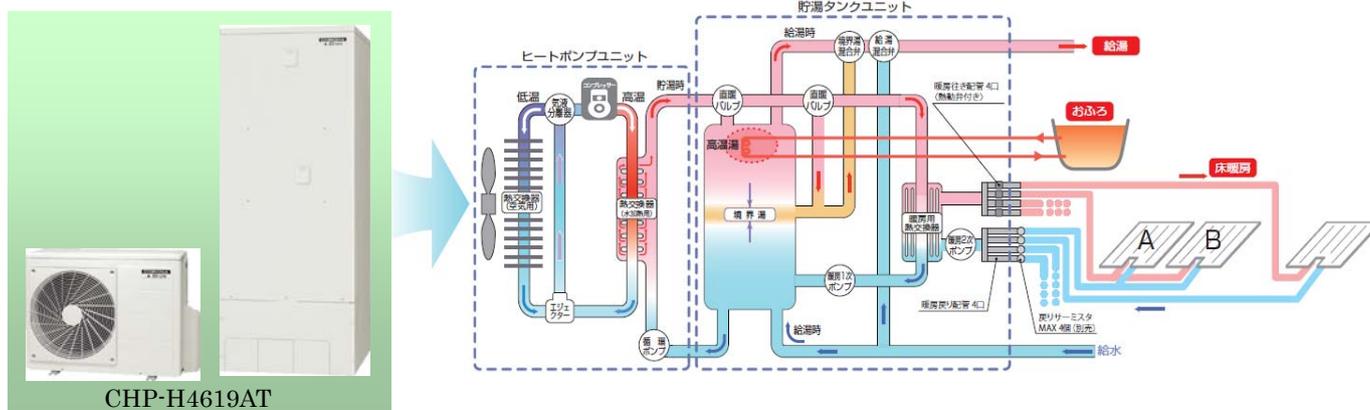
従来品に比べ床暖房面積、暖房時間の拡大、さらに寒冷地シリーズのラインアップが高く評価され、エコキュートでは唯一の受賞となりました。

当社は、昨年の第11回電力平準化機器・システム表彰にて経済産業省資源エネルギー庁長官賞を受賞しております。このたびの受賞は昨年に引き続き、2年連続受賞の栄誉となりました。

当社は、2001年4月にエコキュート<sup>※2</sup>を世界で初めて<sup>※3</sup>開発・販売し、その後も地球温暖化対策の切り札とされるエコキュートの進化、普及に努めてまいりました。これらの点を評価いただいたものと考えており、心から感謝申し上げますと共に、今後とも「世界初であるという責任」を果たして参ります。

#### ★ 受賞機器の主な特長

受賞対象機器である『自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプ式給湯機 コロナエコキュート多機能シリーズ』は、エコキュートの基本機能である給湯、ふろ湯張りに加えて暖房機能を持っています。このたびの受賞対象機器は「エジェクタサイクル」<sup>※4</sup>搭載のヒートポンプユニットと直接暖房方式<sup>※5</sup>を採用した貯湯タンクユニットに最新の制御技術等を組合せ、APF3.1<sup>※6</sup>の高効率と大幅に能力を強化した暖房能力で利便性を高めた商品です。タンクユニットには4系統の暖房回路に対応する配管ヘッダー、温度センサー等を内蔵し、床暖房専用リモコンを4台まで接続して、個別の部屋ごとに暖房をON/OFFや、温度設定をすることができます。最大26畳<sup>※7</sup>までの床暖房が可能で、最大24時間の連続暖房運転<sup>※8</sup>も可能です。暖房配管ヘッダー等を内蔵することで周辺の配管工事が容易になり、仕上がり向上に繋がります。暖房試運転も自動的に暖房回路のエア抜きを行いますから、施工時間の短縮に役立ちます。



CHP-H4619AT

受賞対象機器:コロナエコキュート 多機能シリーズ

本件についてのお問い合わせは下記へお願いいたします。

株式会社コロナ 広報室 <http://www.corona.co.jp>

〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号 TEL:0256-32-2111 E-mail:[info@hode01.corona.co.jp](mailto:info@hode01.corona.co.jp)

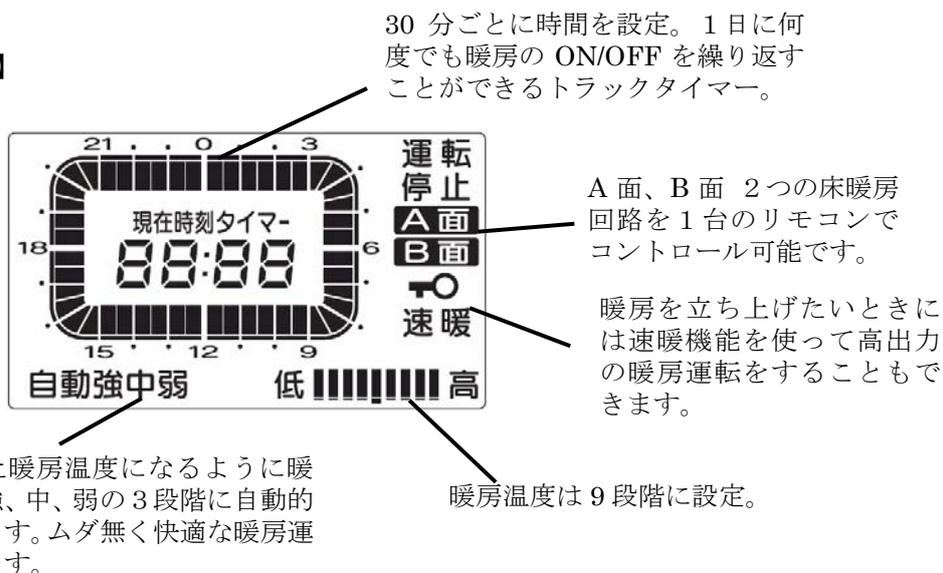
別売の床暖房専用リモコンを4台まで接続可能で、標準付属の台所リモコン、浴室リモコンと合わせてタンクユニットに接続することができます。



### 床暖房専用リモコンの特長

一つのリモコンで二つのゾーンを個別にコントロールすることができます。誰もいない部屋は暖房をOFFにして、家族のいる部屋を選んで暖房することで経済的な運転が可能で、省エネルギーにも役立ちます。床暖房の運転設定は蓋を開いて表示画面を見ながら操作します。リモコンの蓋は通常、閉じて使用しますので、不用意な誤操作を防ぐことができます。

#### 【リモコン表示画面】



※1: 電力負荷平準化機器・システム表彰とは、電力負荷平準化対策を進めることは、安定的で低廉な電力供給を達成するうえで重要な課題であり、日本経済の高コスト構造の是正や国際競争力の向上、国民生活の向上だけでなく、省エネルギー、二酸化炭素排出抑制などにも寄与するものです。本表彰制度は電力負荷平準化に資すると認められる機器・システムを広く公募し、特に優れたものを表彰することにより、電力負荷平準化機器・システムの一層の普及および社会への啓発を図ることを目的としています。

※2: 「エコキュート」の名称は、電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒 CO<sub>2</sub> ヒートポンプ式給湯機の実用化を推進するために使用しているものです。

※3: コロナは 2001 年4月、家庭用自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプ式給湯機エコキュートの販売を始めました。

※4: 「エジェクスサイクル」とは冷凍サイクルにエジェクスを採用してヒートポンプの効率を向上させるものです。

エジェクス/EJECS は(株)デンソーの登録商標です。

※5: 直接暖房方式とはヒートポンプからの熱を貯湯槽に蓄える前に暖房にも振り分けて直接供給する方式です。

※6: 年間給湯効率 (APF) は(社)日本冷凍空調工業会の規格である JRA4050:2007R に基づき消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1年間を通してある一定の条件 (一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件、給水温度で 42°C のお湯を 1 日に約 425L 使用する条件等を想定したものです) のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。尚、値は省エネ運転モードである「控えめ」で測定した値であり、実際には地域条件、運転モードの設定やご使用条件等により変わります。年間給湯効率 = 1 年で使用する給湯に係る熱量 ÷ 1 年間で必要な消費電力量。

※7: Ⅲ・Ⅳ地域の次世代省エネルギー基準対応住宅において IBEC-L 相当の給湯を行う他、上面放熱率 90% 以上の床暖房パネルを使用し、1日 16 時間 (深夜時間帯は貯湯運転) までの暖房運転を行う場合。

※8: Ⅲ・Ⅳ地域の次世代省エネルギー基準対応住宅において IBEC-L 相当の給湯を行う他、上面放熱率 90% 以上の床暖房パネルを使用し暖房面積を 20 畳までとした場合。